

RD クリニック特定認定再生医療等委員会議事録（第三部）

日時：2017年5月31日（水） 18時50分～20時00分

場所：株式会社 セルバンク 3階 会議室

出席委員（五十音順、敬称略）

氏名	所属・資格・役職等
浅原 孝之	東海大学教授（再生医療科学）、再生医療学会代議員（医師）
足立 智孝 (副委員長)	亀田医療大学教授（生命倫理学・医療人文学）
大村 健	フォーサイト総合法律事務所 代表パートナー（弁護士）
田久 浩志	国土舘大学教授（病院医療管理学・救急医学・医療統計学）
田中 越郎	東京農業大学教授（栄養学・生理学・薬理学）（医師）
田中 牧恵 (副委員長)	RD クリニック東京銀座院長、日本再生医療学会再生医療認定医（医師）
谷野 隆三郎 (委員長)	医療法人社団 天神会理事長、東海大学名誉教授（医師）
西村 浩之	株式会社ジエイメック 代表取締役社長（一般）
北條 元治	株式会社セルバンク 代表取締役 日本再生医療学会再生医療認定医（医師）
前田 裕子	株式会社セルバンク 取締役、京都府立医科大学特任教授（一般）
松井 宏夫	医療ジャーナリスト、東邦大学医学部客員教授（一般）
宮坂 宗男	東海大学名誉教授（形成外科学）（医師）
美和 薫	フォーサイト総合法律事務所 ジュニアパートナー（弁護士）

欠席委員

増田 治史	東海大学准教授（再生医療科学）（医師）
-------	---------------------

委員会事務局

大西 正利（事務局長）、田中 岐代子

議事録

1. (第2部) 真皮線維芽細胞移植術の提供計画について

(ア) 継続 (1件: みやた形成外科・皮ふ科)

- 再生医療等の概要は、従来審査してきた真皮線維芽細胞移植術に、同クリニックの得意とする他の皮膚治療 (レーザー治療、高周波治療等) を組み合わせ、肌の活性化・エイジングケアの促進を図る、というもの。

(前回2月の委員会より継続審議中)

北條	宮田先生がレーザー治療を使って論文を書きたいとおっしゃっている。 しかし、がんの免疫療法と同じように (いろいろな放射線・抗がん剤と組み合わせる) いろいろなレーザー治療と組み合わせで治療を行うというもの。組み合わせにきりがないため、無理に論文は書かなくてもよいのでは、と申し上げた。
谷野	(プロトコルによると) レーザー治療が6種類もあるので、一番使用する可能性が高いところで1.2つに絞り治療を行っていただくということではできないのだろうか。
谷野	移植はレーザー治療後に行うのか。
北條	すべてレーザーを行ってから注入する。
谷野	当日に注入するのか？
北條	直前から7日前に注入する。
大村	これは、どの機械とのコンビネーションがよいのか探ろうということではないか。
谷野	この治療の結果が主観的なものなので、客観的に見るのが難しい。何例 (パターン) ほどの組み合わせを考えているのだろうか。
北條	100例以上ではきかないだろう。
前田	実際にすべてのレーザー治療のパターンを認可しておいてもらえればよいという考えではないか。

北條	治療に失敗したな、と思ったときのためにこれだけのパターンを出しておきたいという ものではないか。
谷野	最初から横並びですべてやるとは考えられない。ならばいくつか組み合わせを絞った 方がよいのではないか。
谷野	プロトコルを 1 種類でよいかから出していただき、安全性だけではなく、「こういう実 験計画で行う」という方向を示していただいた方がよいのではないか。
北條	宮田先生の中でもっと具体的な、まず審査を通ったら何をしたいというものがあるの だろう。
前田	個人的には特許申請に近い気がする。人によって最高値は違うので、すべての組 み合わせパターンで申請を出しておくという発想だと思う。
北條	機器に対して特許を出すということか。
前田	そうである。ライセンス料を徴収することができる。
北條	宮田先生へこの治療を明日行うとしたらまず何をしますか？という言い回しで説明 を行うのがよい。
谷野	プロトコルも出していただく、という方向でよいだろうか。
全員	はい。
前田	安全性についての審査ですから。どのような例でどのようなプロトコルでやるのかを 示してもらい、それを見て安全かどうか判断するのがよい。

以上